

### 3 ひろさき産学官連携フォーラム

#### (1) 設立の目的

産学官連携（※）による新商品の開発・新事業の展開等を支援することにより新産業の創出を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的に、平成17年1月17日に設立。

※弘前大学・青森県産業技術センター等の研究機関、地域産業界、金融機関及び弘前市等の行政・支援機関による幅広い連携。

#### (2) 組織概要

##### ①会員数（令和7年3月31日現在）

法人会員 78社、個人会員 78名

##### ②事務局

弘前大学研究・イノベーション推進機構、弘前市産業育成課の2機関で構成

#### (3) 事業内容

##### ①普及啓発・情報提供事業

###### a) 総会・講演会等の開催

会員の知見・技術の向上と相互のネットワークの構築を図るため、講演会を開催。

###### b) 講演会の開催（共催）

関係機関等が主催する講演会を共同で実施。

###### c) イブニングフォーラムの開催

会員相互の交流、産学官金のネットワークの構築の場としての交流会を定期的に開催。

###### d) 情報収集・提供（随時）

HP、メールマガジンの配信等による各種情報提供、情報発信を実施。

##### ②調査研究支援事業

###### a) 既存研究会の運営（通年）

各研究会における調査研究を促進するため、研究会活動に要する経費の一部を助成する。

###### (ア) 青い森の食材研究会

機能性情報の発信による県産の農水畜産物の研究・販売拡大・ブランド化の普及・促進。

###### (イ) 白神酵母研究会

弘前大学が分離選抜した白神酵母を活用した新商品開発、ブランド化の促進。

###### (ウ) 医工連携研究会

医療や医療関連分野への参入を促進するためのセミナー等開催。

###### (エ) りんご／さくら和紙研究

弘前市の主要な観光資源である「りんご」と「さくら」の新しい活用方法として、剪定枝を原料とした和紙の作製や新商品の開発。

###### (オ) カルヴィル研究会

加熱調理適性の高い品種やシードル用品種等、生果での流通に限らないりんご品種の普及及び活用促進。

b) 新規研究会の設置支援（随時）

各種事業活動を通して、会員相互による新規研究会の設置を支援。

c) 技術相談会の開催（定期）

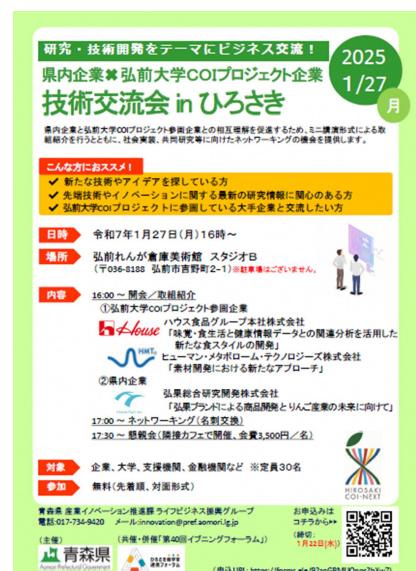
会員の知見・技術の向上等を図るため、弘前大学のURAに技術相談を行う機会を提供。



ひろさき産学官連携フォーラム定時総会・基調講演会



第39回イブニングフォーラム



第40回イブニングフォーラム